

# 水稻新品種「どんとこい」の栽培特性と収穫適期

山中 聡子・北野 順一・神田 幸英  
(三重県農業技術センター)

Cultivation Characteristic and Fitted Harvesting Time of New Rice Variety "Dontokoi"

Satoko YAMANAKA, Jun-ichi KITANO and Yukihide KANDA  
(Mie Agricultural Research Center)

コシヒカリが過度に集中している本県平坦地域の作期分散対策として平成7年度に奨励品種に採用した多収で良食味の新品種「どんとこい」の安定栽培技術を確認するため、移植時期、栽植密度および施肥に対する反応と、収穫適期およびその判断基準について検討した。

## 材 料 と 方 法

試験は平成6・7年度に三重県農業技術センター内水田圃場において、表1に示した試験区構成で実施した。基肥は全面全層施肥し、穂肥は窒素成分0.3kg/aを2回に分施した。移植は稚苗4本を手植えし、水管理、防除は慣行に準じた。収穫適期については表1の試験区の中から平成6年度は4月下旬移植の、平成7年度は各移植時期の栽植密度21.2株/m<sup>2</sup>、基肥窒素0.5kg/a区において、出穂後22日から出穂後54日まで3~4日毎に生育の中庸な10株を抜き取り、中庸な穂5本の帯緑歩合、籾水分を測定し、はさ掛け乾燥後外観品質を調査した。

表1 試験区構成 (L27直交表多因子計画) 1区28㎡

要 因	水 準		
移植時期(播種時期)	4月28日(4月7日)	5月17日(4月25日)	6月1日(5月17日)
栽植密度	18.2株/m <sup>2</sup>	21.2株/m <sup>2</sup>	24.2株/m <sup>2</sup>
基肥 N-P-K (kg/a)	0.3-0.45-0.35	0.5-0.75-0.58	0.7-1.05-0.82

## 結 果 と 考 察

1. 栽培特性 移植時期が早いほど穂数および籾数は確保しやすく安定多収であるが、整粒歩合が低下しやすいことから移植適期は5月上・中旬と考えられた。栽植密度の影響は小さく慣行の21.2株/m<sup>2</sup>でよい。多肥ほど長稈化するが倒伏は見られず耐倒伏性は高かった。また多肥ほど穂数および籾数は増加し多収となるが、籾数過剰により登熟歩合、千粒重および整粒歩合が低下することから基肥量は0.5kg/a程度が適当である(表1, 図1, 2)。籾数との関係では、籾数が増加するほど多収となるが整粒歩合が低下することから、整粒歩合80%以上を目標とする場合の必要籾数は3万粒/m<sup>2</sup>である(図1, 2)。

2. 収穫適期 屑米率の低下は青未熟粒率の低下と同様の傾向を示し、出穂後35日に青未熟粒率は約13%、屑米率は約7%になった。また胴割れ粒率は出穂後42日までおおむね10%以下であり、検査等級が高い出穂後35~42日が収穫適期と考えられる(図3)。このとき積算平均気温は940~1100℃であった。屑米率と籾水分の関係は青未熟粒率と籾水分の関係と同様の傾向を示し、籾水分が26%になると屑米率および青未熟粒率はおおむね10%以下となった。また胴割れ粒率は籾水分が23%までおおむね10%以下であったことから収穫適期を籾水分で示すと26~23%である(図4)。籾水分と帯緑籾歩合の相関は高く、帯緑籾歩合から籾水分が推定可能と思われ、収穫適期を帯緑籾歩合で置き換えると25~10%である。またコシヒカリに比べ、青未熟粒率の低下が遅く、登熟期間は5日程度長いと考えられる(図3)。

表1 収量・収量構成要素および品質への影響(平成6・7年)

要因	水準	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	玄米重 (kg/a)	千粒重 (g)	籾数 (×100 粒/㎡)	登熟 歩合 (%)	整粒 歩合 (%)
移植時期 (月/半月)	4/下	73.2	380	62.5	21.4	319	82.9	69.0
	5/中	76.4	358	61.1	22.4	304	82.9	72.2
	6/上	76.4	357	57.6	22.4	274	85.8	87.5
栽植密度 (株/㎡)	18.2	76.1	351	61.3	22.1	306	84.9	75.1
	21.2	75.6	363	60.0	22.1	294	83.0	77.1
	24.2	74.2	380	59.9	22.1	297	83.7	76.5
基肥窒素 (kg/a)	0.3	72.3	345	56.3	22.4	271	85.4	75.1
	0.5	75.6	364	61.4	22.0	303	84.0	76.7
	0.7	78.0	385	63.6	21.8	323	82.2	76.9

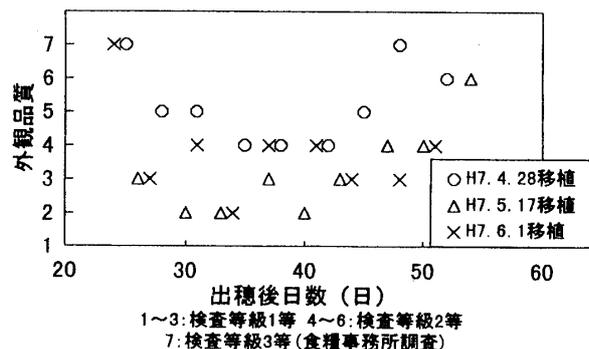
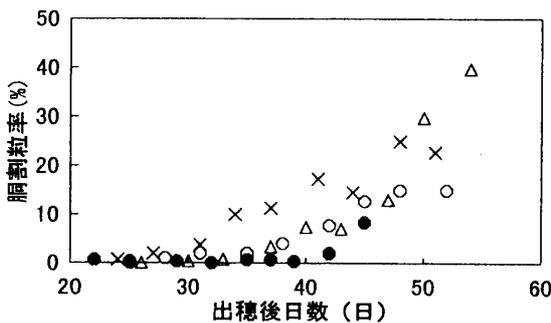
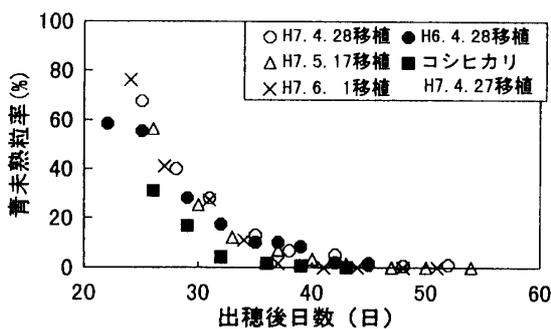


図3 刈り取り時期と玄米品質

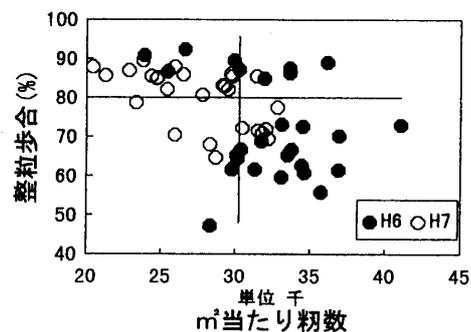


図1 籾数と整粒歩合の関係

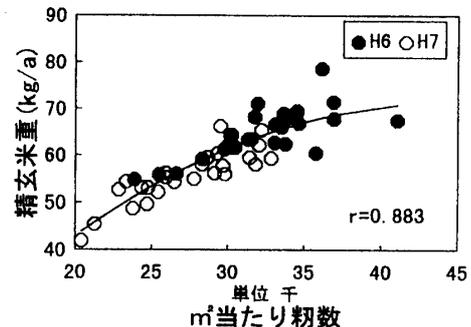


図2 籾数と収量の関係

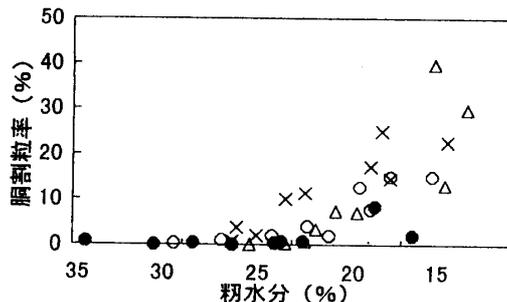
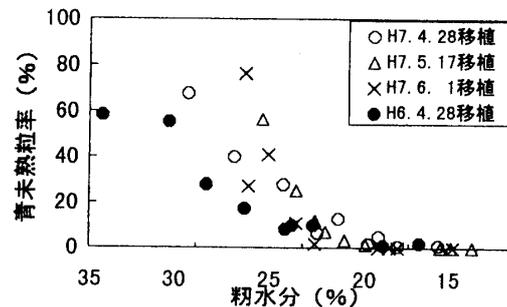


図4 籾水分と玄米品質の関係